



## 5 中島地区の公園に期待される役割

項目2～4の内容に基づき中島地区の公園全体のテーマを次の通り設定するものとする  
～ にぎわいがあるって、子育てが楽しくなる場所 ～

## 6 方針作成に係る各公園の利用状況調査及び市民意見の把握等について

### (1) ネットワークカメラによる利用状況調査

- ・実施時期：令和3年9月～10月
- ・協力企業：ニューラルポケット(株)
- ・実施内容：各公園に1週間から2週間の期間カメラを設置し、公園の利用量、利用の活発さ、滞在時間などを調査しAIによる分析を実施

### (2) 中島公園に係る市民アンケート

- ・実施時期：令和3年3月～4月
- ・対象者：20歳から79歳までの市民及び中島公園に近接する室蘭工業高校生
- ・回答者数：618人(回答率約26%)
- ・実施内容：中島公園の利用頻度、利用目的、公園の各機能の満足度、追加したい施設、追加したいサービスなどを調査し、結果について総合満足度に最も影響している因子の分析を実施

### (3) 対象公園に係る周辺住民へのアンケート

- ・実施時期：令和3年12月～令和4年1月
- ・対象者：中島地区在住の子育て世帯
- ・協力：室蘭工業大学 市村研究室
- ・回答者数：255人(回答率約28%)
- ・実施内容：中島地区の街区公園及び中島公園の利用頻度、利用満足度等を調査

### (4) 中島地区の公園に関する市民ワークショップ

- ・実施時期：令和5年1月22日(日)10～12時
- ・協力：室蘭工業大学 市村研究室
- ・参加者数：26人(5グループに分かれて実施)
- ・実施内容：ワークショップ形式で公園の使い方や今後の使い方のアイデアを出し合い、最後に各グループから発表

### (5) 市ホームページによる意見募集

- ・募集期間：令和5年1月26日～2月9日
- ・募集内容：対象公園の使い方や今後の使い方のアイデアを募集
- ・意見者数：5人

### (6) 室蘭市緑化審議会において方針(素案)について報告

- ・名称：令和4年度 第1回室蘭市緑化審議会
- ・日時：令和5年2月17日(金)
- ・内容：この方針の素案を提示し、委員から意見を頂いた

## 7 お元気広場について

### (1) 現状

中島地区の商業者が主体となり年間を通じて各種地域イベントが開催されており、数多くの市民が訪れ地区に賑わいを生み出している

### (2) 今後の方向性

今後は、地区の賑わいや回遊性を生み出す都市施設の広場として位置付ける方向で検討を進め、合わせて官民連携の管理運営方法についても検討していく

## 8 各公園の新たな公園像と管理運営方針

公園名	新たな公園像 ～この公園ならではの新しい 使われ方のイメージ～	官民連携による公園管理運営方針 ～新たな公園像の実現に向けた公園の整備・維持管理や使いこ なしの方針～
潮止公園	大きく身体を動かす運動に 適した公園	一定の広さのある広場を確保しつつ、より積極的にスポーツ利用などが行われるように、地域の団体によるスポーツイベントでの活用などを旨とする
向陽公園	広場や休憩施設があるイ ベントの開催に適した公 園	イベントに特化した整備とともに、地元飲食店や企業等による、にぎわいづくりと経済循環を意識したイベントが継続的に行われること等で、公園利用者の増加を目指すと共に、隣接するらんらん橋や知利別川と連動した公園の使いこなしも目指す
中島小公園	地域の交流に適した広場 や施設がある公園	大きく体を動かす運動機能は潮止公園と機能分担し、広場を運動以外の用途でも利用できるよう、地域の住民や団体を中心に活用方法を考えていく
中島4丁目公園	※更なる地域ニーズの把握により、新たな公園像について引き続き検討	※地区内の公園の中では整備・維持管理の優先度は低いと判断されることや現状の地域ニーズは低いことから、さらなるニーズ調査により新たな公園像を設定した後、管理運営方針を検討する
中島本町公園	※近隣の大型複合商業施設の開発動向に合わせて新たな公園像を検討	近隣の大型複合商業施設の開発動向によるが、その開発とも連携し、子育て世帯が集い、交流できるような整備や継続的なイベント開催を目指す
バラ公園	近隣の総合病院利用者や幼稚園・保育所の子ども達が散歩や遊びに来たくなる公園	幼児向けの遊具の整備や、近隣の総合病院利用者が利用できるベンチや花壇等の整備とともに、例えば、地域の団体による花壇づくりでの交流が開催されるなどにより、公園利用者の増加を目指す
中島公園	公園内にある自然を生かした子育て世代に選ばれる健康的な遊び場	子どもの遊び場の拡大とともに、中島公園トライアルイベントのような、地域の事業者等と連携し子育て世帯を対象とした公園の特徴を生かしたイベントの継続的な実施を目指し、また、利用者の誘致圏人口が多い地区公園であることから、公園内にある野球場の機能移転の検討も含め、民間企業の参入等による公園マネジメントも検討する
各公園共通で意識すべき事	※主に市民ワークショップでの意見を参考に整理したもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体の交流の場、地域住民の居場所やにぎわいの場とすること</li> <li>・各公園や周辺環境の特性を生かしたイベントや新たな使い道を考えること</li> <li>・地区内で一日を通じて過ごせる回遊性</li> <li>・経済を回すためのビジネスの観点</li> <li>・駐車場、電源、遊具などのハード整備は維持管理コストとのバランス</li> <li>・新たな維持管理の仕組み</li> <li>・防災等の従来型の機能の強化や景観等の機能も考慮すること</li> <li>・ネーミングライツ等、企業参加による公園マネジメントの推進</li> <li>・地区内での新たな公園マネジメントに向けた動きを育てていくこと</li> <li>・「公園の使い方の手引き」の作成による公園の使いこなしのバックアップ</li> </ul>